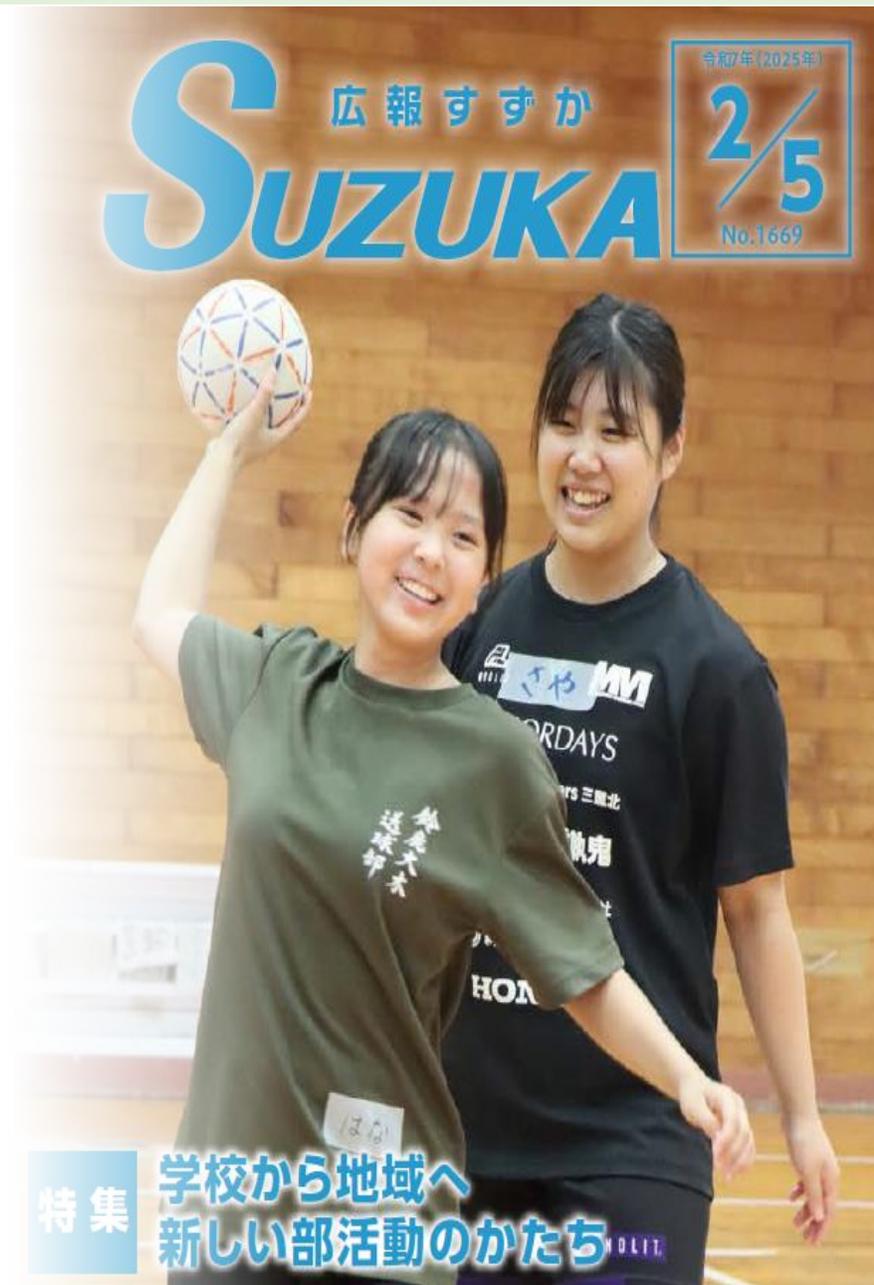


総合教育会議

休日の学校部活動の地域移行について
～現状と今後の見通し～

教育指導課 文化振興課 スポーツ課

令和7年7月9日(水)



Index

目次

01 これまでの取組

- ①国、県、市の動向
- ②市の取組概要
- ③地域移行に関する協議会
- ④モデル事業
- ⑤周知活動
- ⑥こどもたちの声
- ⑦指導者の声

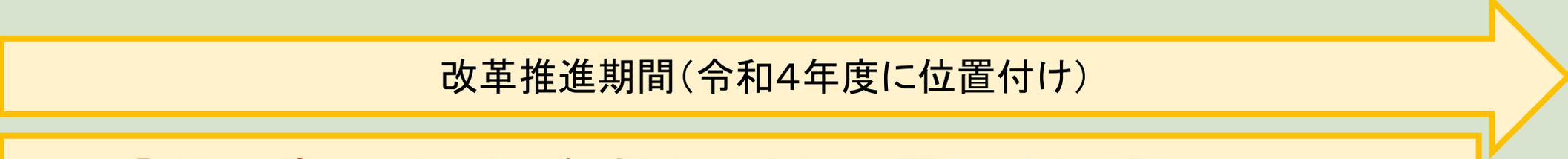
02 児童、教職員の意向

- ①児童アンケート
- ②教職員アンケート

03 今後の見通し

- ①令和8年10月以降の方向性
- ②他市町の状況
- ③課題(保護者の声から)
- ④全市的取組

01 これまでの取組 ①国、県、市の動向

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国	 <p>改革推進期間(令和4年度に位置付け)</p>		
	<p>「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」(R7.5.16)</p> <p>①名称変更 地域移行 → 地域展開</p> <p>②期間変更 改革推進期間 → 改革実行期間 (前期:令和8～10年度⇒中間評価⇒後期:令和11～13年度)</p>		
県	地域クラブ活動方針	スタートアップ事業	人材バンク
市	部活動地域移行準備室 地域移行に関する協議会 モデル事業(ソフトテニス)	庁内連絡協議会 方向性の決定 モデル事業(4種目)	全庁的取組

01 これまでの取組 ②市の取組概要

部活動地域移行に関する協議会

令和5年度 **3回**開催
(令和5年 7月25日)
(令和5年12月 4日)
(令和6年 3月 4日)

令和6年度 **2回**開催
(令和6年10月7日)
(令和7年 3月3日)

モデル事業

令和5年度
ソフトテニス (2回)

令和6年度
ソフトテニス
ハンドボール
ソフトボール
卓球
(各種目4回)

周知活動

児童生徒

保護者

教職員

市民対象

01 これまでの取組 ③地域移行に関する協議会

協議会委員

学識経験者

鈴鹿市スポーツ協会の代表者

鈴鹿市中学校校長会の代表者

鈴鹿市中学校体育連盟の代表者

三重県吹奏楽連盟中学校の部
における鈴鹿市の代表者

教職員の代表者

鈴鹿市PTA連合会の代表者

地域産業団体の代表者

地域スポーツ・文化芸術団体の代表

協議内容

●本市における学校部活動の地域移行の推進

●学校部活動を地域移行していく上での課題

●学校部活動の地域移行に係る周知

●教職員向け周知方法及びロードマップ

●モデル事業に係る課題について

●令和8年度以降の休日の部活動の在り方

●アンケート調査結果の考察

01 これまでの取組 ④モデル事業

年度	種目	応募生徒数		参加割合(※)
令和5年度	ソフトテニス	77		20.5%
令和6年度	ソフトテニス	64		17.2%
	卓球	14		5.6%
	ハンドボール	14		18.9%
	ソフトボール	12		13.2%

※ 本市の「運動部活動加入状況調査(三重県中学校体育連盟)」から算出

01 これまでの取組 ④モデル事業

実施概要

(1) 活動日(第1土曜日)

第1回: 令和7年11月 1日

第2回: 令和7年12月 6日

第3回: 令和8年 1月10日

(第2土曜日)

第4回: 令和8年 2月 7日

(2) 諸謝金

指導員 1,600円／1時間

事務担当 2,100円／1活動

(3) 委託料

運動種目 60万円程度

文化種目 45万円程度

令和7年度実施予定種目

ソフトテニス

サッカー

バドミントン

陸上競技

ハンドボール

吹奏楽

ソフトボール

合唱

軟式野球

バスケットボール

01 これまでの取組 ⑤周知活動

保護者対象

鈴鹿市における休日の学校部活動
(令和6年10月18日付け)

部活動はどう変わる？
(令和6年12月13日付け)

入学説明会における周知
(令和7年1月9日付け)

令和7年度モデル事業
(令和7年4月16日付け)

教職員対象

休日の学校部活動に係る周知予定
(令和6年10月21日付け)

令和6年度部活動担当者等会議
(令和6年12月2日開催)

休日の学校部活動の地域移行
(令和6年12月10日付け)

モデル事業運営団体の募集
(令和7年3月3日付け)

01 これまでの取組 ⑤周知活動

学校から地域へ 新たな部活動のかたち

中 学校での「学校部活動の地域移行」が、全国的に進められています。背景にあるのは、急速に進む少子化です。近年、学校は生徒数・学級数が減少し、さらには教員数も減少してきています。そのことに伴い、学校部活動は「部員が足りずチームが編成できない」、「活動したい部活動が設置されていない」、「専門的な指導ができる教員がない」などのさまざまな課題を抱えています。

これらの課題を解決するために、休日の学校部活動を地域に移行することで、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化・芸術活動に親しめる充実した機会を確保していこうという取り組みを進めています。

休日の学校部活動地域移行

これまで中学校教員が顧問となり学校主体で行ってきた部活動を、地域の方などが行う仕組みに整備することを「学校部活動の地域移行」といいます。

本市は、令和8年10月以降、土・日曜日や祝・休日、地域や競技団体などが運営する「休日の活動」に移行します。

休日の学校部活動の運営体制の変更点

- 運営主体 学校 ▶▶▶ 地域やスポーツ競技団体、文化芸術団体 など
- 実施場所 学校 ▶▶▶ 活動に適した場所
- 指導者 教員 ▶▶▶ 地域の指導者

◇ 地域移行のメリット ◇

子ども

さまざまな活動を選択でき、より専門的な指導を受けることができる

地域

地域の方と子どもたちが交流する機会が増え、地域の活性化につながる

教員

教員が生徒と向き合う時間や、授業の準備をする時間が増える

地域移行のQ&A

- Q** 「休日の活動」は、どのような活動があるの？
- A** スポーツ活動、文化・芸術活動、地域行事・地域活動などがあり、子どもたちが自分に合った活動を自分のペースで選択することができます。
-
- Q** 「休日の活動」に参加する場合はどのような費用が必要？
- A** 活動団体によって異なりますが、保険料や消耗品費、指導者の指導料などを想定しています。
-
- Q** 大会やコンクールへの参加はどうなるの？
- A** 運動部は、中学校体育連盟が主催する大会に学校部活動として参加することができます。文化部については、現在検討中です。
-



01 これまでの取組 ⑥こどもたちの声



調査項目	肯定的回答割合
技術の向上を感じましたか	98.1%
楽しさを感じましたか	90.7%
他校生徒の交流はよかったですか	96.3%
今回の活動に満足しましたか	94.4%

参加生徒の感想

- 個別指導を行っていただく機会があって良かった。
- 指導者の的確な指導により、成長を感じることができた。
- 他校生と交流することで実力を上げることができた。
- 学校での練習より多くの方法で練習できた。
- 平日には、しない練習をすることができた。



01 これまでの取組 ⑦指導者の声

ソフトボール

- 自分たちも一緒にプレーし、楽しさを伝えています。
- 選手目線でアドバイスしています。
- すぐに答えを言うのではなく、選手に考えさせることを意識しています。

ソフトテニス

- 練習を通じて、生徒どうしで高め合ってほしいです。
- ここで体験したことを中学校でいかしてほしいです。
- 学校間の垣根を超えて練習を行うので、いろんなプレーを見てもらう良い機会になります。



02 児童、教職員の意向①児童アンケート

① 学校外活動の参加状況

活動状況	回答数	割合
スポーツ活動	1,241	42.4%
文化活動	246	8.4%
スポーツと文化活動	292	10.0%
活動はしていない	1,147	39.2%

② 地域移行後の活動参加意思

地域移行後の活動意思	回答数	割合
自宅付近の活動ならば参加	755	25.8%
学校付近の活動ならば参加	377	12.9%
やりたい活動があれば参加	893	30.5%
参加しない	900	30.8%
無回答	1	0.0%

実施概要

(1) 実施日

令和7年1月16日～28日

(2) 調査方法

フォームによる回答

(3) 調査内容

- ・学校外活動の参加状況
- ・地域移行後の活動参加意思

(4) 回答数

小学5年児童 1,491人
小学6年児童 1,435人
計 2,926人

02 児童、教職員の意向②教職員アンケート

実施概要

- (1) 実施日
令和7年1月16日～28日
- (2) 調査方法
フォームによる回答
- (3) 調査内容
 - ・担当している部活動
 - ・地域移行後活動の参画意思
- (4) 対象者
管理職員及び部活動担当教諭等
- (5) 回答数
324人

① 地域移行後の活動への参画意思

活動状況	回答数	割合
謝金や報酬があっても考えない	186	57.4%
謝金や報酬があれば考える	108	33.3%
ボランティアとして考える	16	5.0%
その他	14	4.3%

② 前回(令和6年7月実施)調査との比

活動状況	R6.7月	R7.1月
謝金や報酬があっても考えない	52.2%	57.4%
謝金や報酬があれば考える	33.4%	33.3%
ボランティアとして考える	6.9%	5.0%
その他	7.5%	4.3%

前回は
5.2%増

03 今後の見通し ①令和8年10月以降の方向性

鈴鹿市における「休日の学校部活動」について(令和6年10月18日付け)

令和6年・令和7年

休日 週休日の内、1日実施

平日 指針に基づき実施



令和8年10月以降

休日 実施しない

平日 指針に基づき実施

現中学1年生徒及び小学6年児童

令和8年9月(それぞれ中学2年次、中学1年次の9月)まで

休日の学校部活動に参加可能

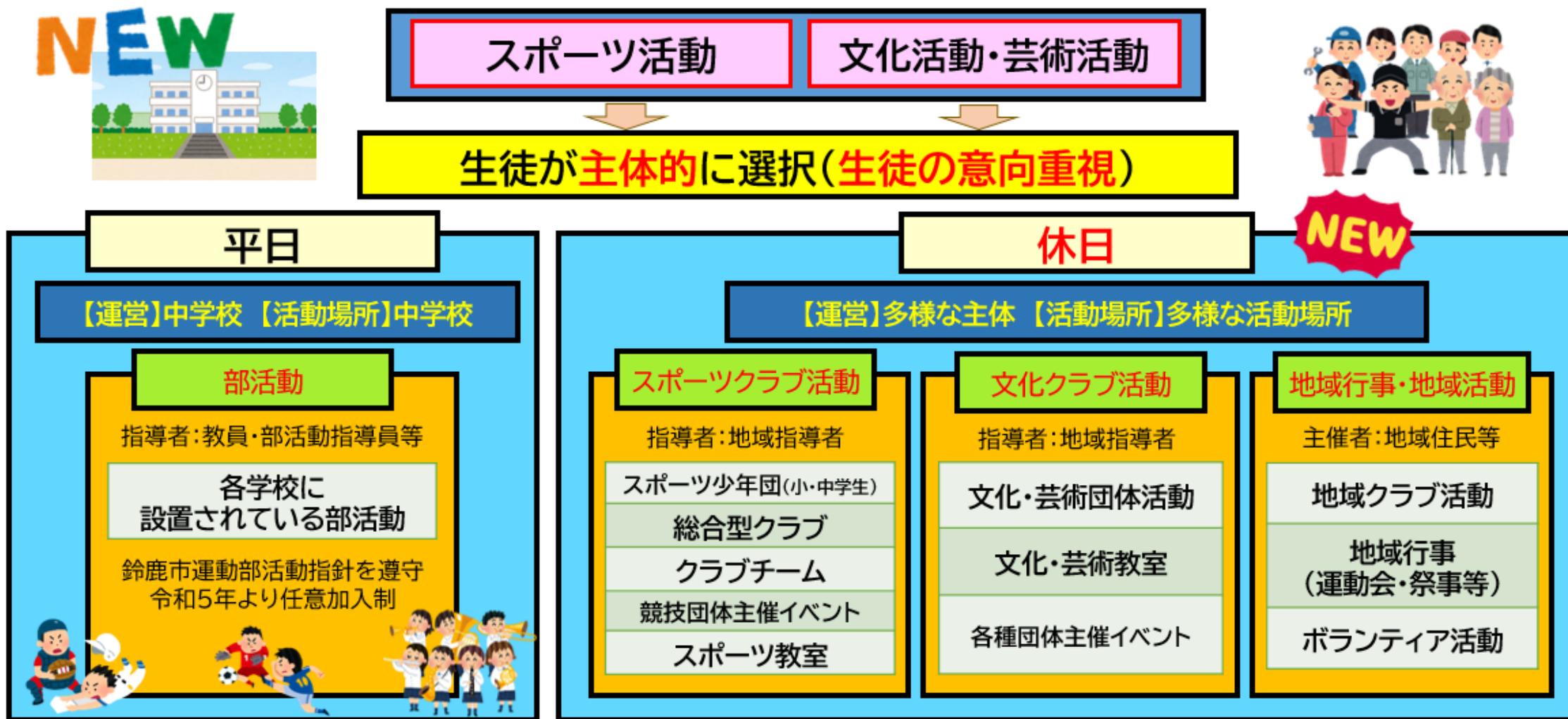
小学5年以下児童

休日の学校部活動なし

平日の学校部活動のみ

03 今後の見通し ①令和8年10月以降の方向性

令和8年10月以降のイメージ図



03 今後の見通し ②他市町の状況



市町名	地域移行予定年度	実証事業開始年度
桑名市	令和8年度中	令和6年度
四日市市	令和8年12月1日	令和5年度
菰野町		令和5年度
鈴鹿市	令和8年10月	令和6年度
亀山市		
津市	令和11年度	
伊賀市	令和8年度末	令和6年度
伊勢市		令和7年度
志摩市		令和5年度
大台町		令和5年度
御浜町		令和7年度
紀宝町		令和7年度

(参考)各教育委員会ウェブサイト

03 今後の見通し ③課題（保護者の声から）



開催場所が、毎回異なっていたため、**送迎が負担**だった。



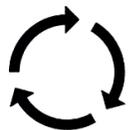
金銭面で参加したくてもできない生徒が発生する事も想定される。



競技人口が少ない競技の地域移行は難しいと感じる。



もう少し**回数が増える**とありがたい。



やりたい競技を**継続できる環境**をつくってあげたい。



部活で育まれる**心の成長が減って**しまいそうで不安である。

03 今後の見通し ④全市的取組

指導者 活動主体について

令和7年度までのモデル事業の実施状況を踏まえ、自立可能な運営主体への働きかけ

企業や高等教育機関等への働きかけ

令和8年以降、生徒が参加可能となるスポーツ・文化活動団体等の整理

地域行事やスポーツ・文化団体等が実施するイベント情報の提供

本市が連携するスポーツ・文化団体等への中学生の受入れについて模索

活動場所について

学校開放事業を活用する等、活動場所の検討

中学生のスポーツや文化活動に接する機会や学びや発表の場の提供

その他について

令和8年10月以降の休日の過ごし方に係る生徒の意向調査

市民を対象とした「広報すずか」及びウェブサイト等による周知